

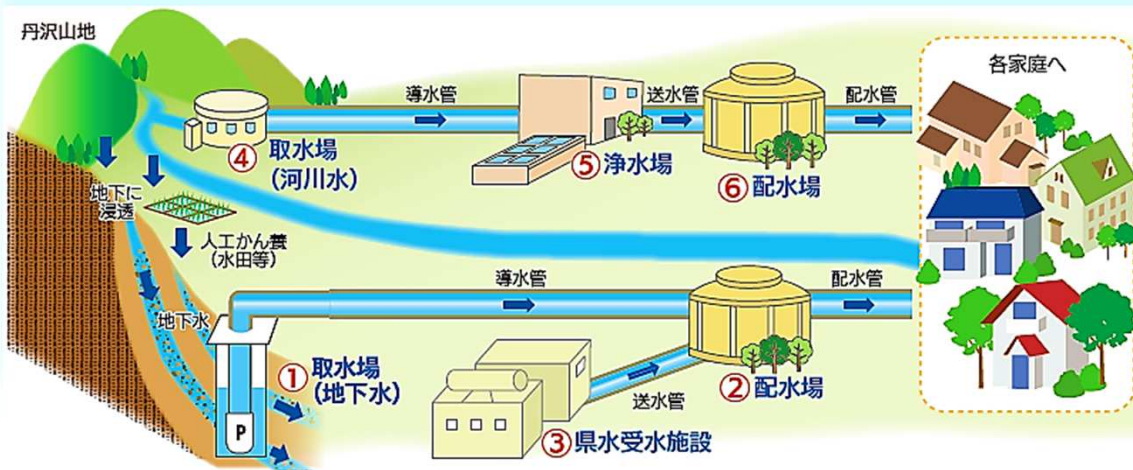
秦野の水道の仕組み

令和3年6月
Vol. 3

ハダノ
上下水道物語

秦野市は丹沢山地と大磯丘陵に囲まれた県内唯一の盆地で扇状地を形成し、丹沢山地に降った雨が扇頂の砂礫層から地下にしみ込み、地下水盆(天然の水がめ)に「秦野名水」といわれる良質な地下水が豊富に貯えられています。

この地下水は、非常にきれいなため、浄水に係る費用が少なく、配水方法も山などの地形を利用した自然流下方式を採用しているため、配水ポンプ設備が少ないのが特徴です。



秦野の水道施設

①④ 取水場 (地下水・河川水)

Dr.おいどー(水道マスコットキャラクター)



水道水のもととなる地下水や河川水を汲み上げる施設です！

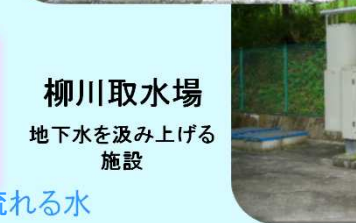
水源は市内に47箇所あります。

- ①地下水40箇所(深井戸33箇所・浅井戸7箇所)
- ②湧水4箇所
- ③河川水3箇所(表流水2箇所・*伏流水1箇所)

*河川や湖沼の地下を流れる水



さるわたり
猿渡取水場
河川水を汲み上げる施設



柳川取水場
地下水を汲み上げる施設



かないば
金井場配水場

②⑥ 配水場

取水場から送られた水を塩素消毒し、各家庭などに水を配る施設です！



市内に27箇所あり、取水場から送られてきた水は、次亜塩素酸ナトリウムによる塩素消毒をし、配水池に貯えて、秦野盆地の特性を生かし、ポンプ設備を使用しない自然流下方式で各家庭などに送水しています。

秦野の水道施設

③

県水受水施設
(ニタ子送水ポンプ場)



県内広域水道企業団がつくる「県水」を受水する施設です！

「県水」は、丹沢湖からの酒匂川水系の水を伊勢原浄水場で浄化され、下大槻にあるニタ子送水ポンプ場で受水し、広畑配水場及び城山配水場(ともに下大槻)を經由し、自己水でまかなうことができない配水場へ送水しています。



⑤

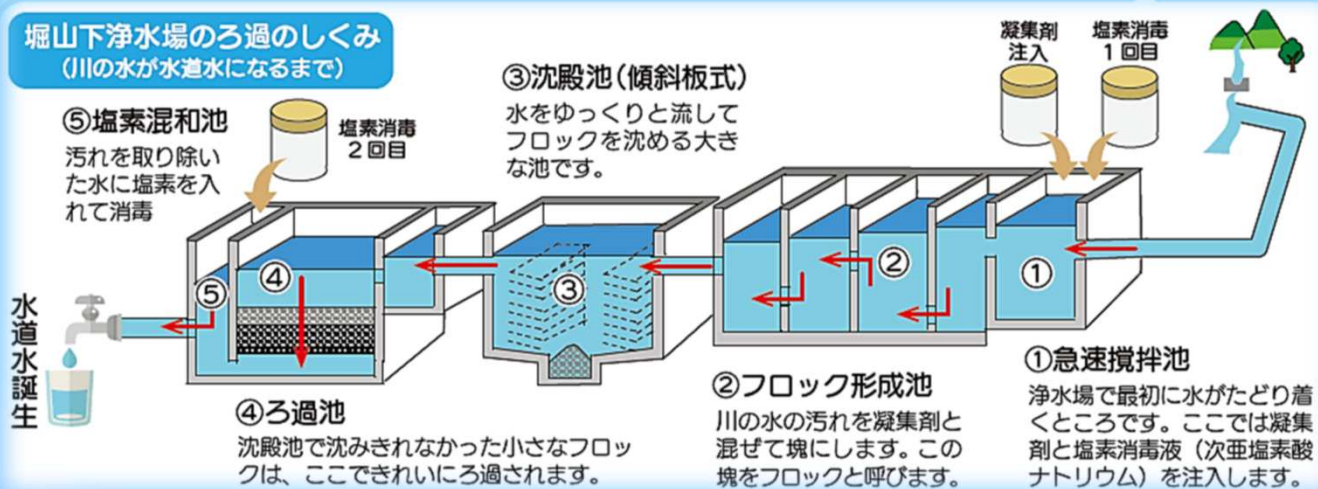
浄水場 (堀山下浄水場)

日量6,500m³を浄化できる市内唯一の浄水場です！



ポリ塩化アルミニウムという凝集剤を使用し、水の汚れを取り除き、細かい砂でろ過をする「急速ろ過方式」という方式で、約1時間30分できれいな水道水となります。

堀山下浄水場のろ過のしくみ
(川の水が水道水になるまで)



水質検査

上下水道局では、「水道水は安全でおいしい」と信頼して使っていただけるように、水源(原水)から給水口(浄水)まで、あらゆる角度から水質検査を実施し、飲み水としての安全性を確認してお届けしています。

水道法で検査が義務付けられている水質検査項目について、毎日3項目、定期的に51項目の検査を行っています。

